

新総合計画の骨子（冊子イメージ）

（表紙）

酒田市総合計画

SAKATA Master Plan

2018→2027

(市長あいさつ)

(審議会会長あいさつ)

(目次)

1 はじめに

- (1) 総合計画の意義(将来人口と財政運営の見通し)
- (2) 総合計画の期間
- (3) 総合計画の構成
- (4) 基本指標【仮】
 - ① 人口フレーム(推計)
 - ② 財政運営の方針
- (5) 土地利用構想【仮】
 - ① 土地利用の基本方針
 - ② 土地利用の基本的配置
 - ③ 土地利用区分別の基本的方向

2 基本構想

- (1) 都市の将来像(めざすまちの姿)
- (2) 政策の体系

3 基本計画

～章(具体的なめざすまちの姿)と政策(より具体的なめざすまちの姿)～

第1章 未来を担う「人財」が豊富な酒田

- 政策1 「協働」のまちづくりのための「市民参画」の推進
- 政策2 大学まちづくりによる人材育成
- 政策3 「協働」のまちづくりに向けたプロフェッショナルな人材づくり
- 政策4 市民みんなの「酒田愛」を育む
- 政策5 明日を担う子どもたちの生きる力を育む
- 政策6 世代を超えてまなびあい、生涯スポーツで明るく健やかに生きる
- 政策7 歴史にはぐくまれた芸術・文化を活かす

第2章 域内経済が活性化し、“働きたい”がかなう酒田

- 政策1 賑わいのある商業の振興と創業の推進
- 政策2 付加価値の高い工業の振興
- 政策3 ”みなと“を活かした物流機能の強化
- 政策4 雇用の安定と働きやすい環境づくり
- 政策5 夢があり、儲かる農業にする
- 政策6 100年続く酒田の森林を造る
- 政策7 豊かな酒田の海づくり

(目次)

第3章 サポーターが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田

政策1 総合的な移住・定住対策

政策2 効果的なシティプロモーションと交流の拡大

政策3 酒田らしい観光の充実と何度も来たくなるおもてなしの推進

政策4 “みなと”を活かした交流の促進

第4章 一人一人のライフスタイルが尊重される酒田

政策1 結婚・妊娠・出産から子育てまでのライフステージに応じた支援

政策2 誰もが活躍できるまちづくり

政策3 誰もが住みよい福祉のまちづくり

第5章 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

政策1 それぞれの力を最大限に引き出した地域運営

政策2 「全員参加」による美しい景観と環境づくり

政策3 地域と連携した安全なまちづくり

政策4 健康長寿でいつまでも活躍できるまちづくり

政策5 持続可能な地域公共交通

第6章 都市機能が強化され、賑わいがあるまち酒田

政策1 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり

政策2 中心市街地の活性化

政策3 交流の基盤となるインフラ整備への機運醸成

政策4 持続可能な生活インフラの構築

第7章 めざすまちを実現するための行財政運営

政策1 市民の満足度を高める効率的・効果的な行財政運営と質の高い窓口対応

4 まとめ

※別冊(資料編)

市民共有のまちづくり計画であるために(第2次酒田市総合計画策定の経過)

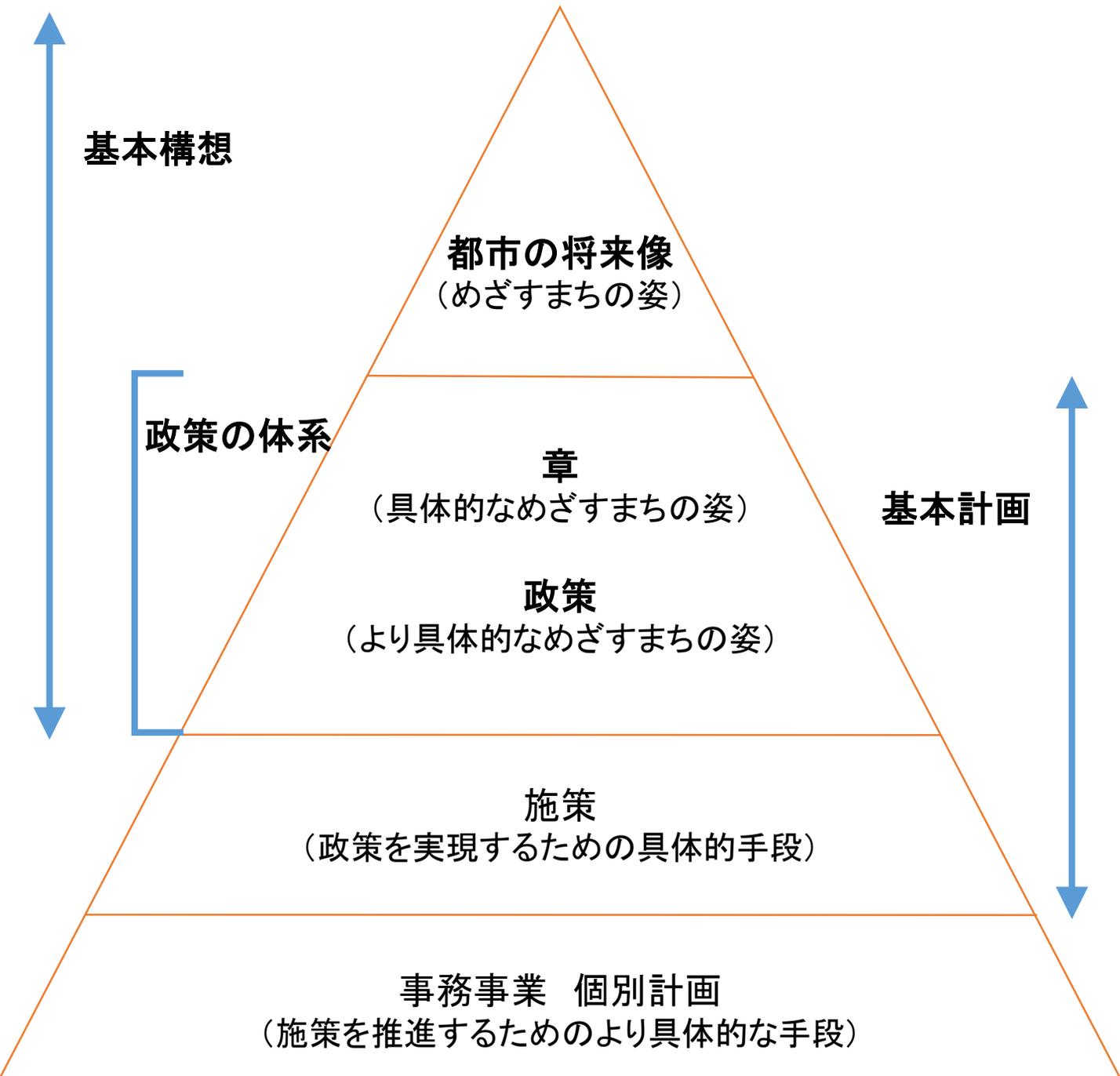
1 はじめに

(1) 総合計画の意義

(2) 総合計画の期間

計画期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間とします。

(3) 総合計画の構成



(4) 基本指標【仮】

① 人口フレーム(推計)

② 財政運営の方針

(5) 土地利用構想【仮】

① 土地利用の基本方針

② 土地利用の基本的配置

(土地利用図)

③ 土地利用区分別の基本的方向

空白ページ

基本構想

2 基本構想

(1) 都市の将来像(めざすまちの姿)

果敢にチャレンジできる産業交流の盛んな港（湊）まち

(説明)

- ・移住者など多様な価値観のたくさんの人を受け入れることができる市民
- ・新しいことにチャレンジできる環境
- ・酒田の全ての産業活性化
- ・4つ港(港湾・漁港・空港・コミュニケーションポート)や酒田の観光資源を生かしたヒト・モノの交流
- ・現代の船の発着場 → 港
港の語源・・・船着き場
クルーズ船、イカ釣り船団、コンテナ船で賑わう現代の港、
ヒトとモノの交流を表現
- ・歴史的に受け継いできた「みなと」を表現 → 湊
湊の語源・・・水上に人や物が集まる場
日本遺産に認定された北前船寄港地・船主集落に代表される受け継がれてきた湊町を表現

五感をもてなす感動のまち

(説明)

- ・どこにも負けない酒田の豊かな資源
(美しい風景や自然の音・香り(潮の香り等)、豊かな食の味に香り、
タッチ！(ジオ・パーク)、自然や伝統文化、人のぬくもり・・・)
- ・そんな酒田の宝をだれもが誇れる市民、訪れた人を感動させる市民のもてなし
- ・酒田が大好きな市民がたくさん
- ・次代に引き継ぐ酒田の宝
- ・積極的なシティプロモーション(酒田の魅力発信)

対話を通した市民の参加があふれるまち

(説明)

- ・市民参加
- ・36人衆から受け継ぐ住民自治、進取の気風
- ・自分事(当事者意識)、主体性
- ・自分たちのまちは自分たちでつくる

誰もがいきいきと暮らし「住み続けたい」と思えるまち

(説明)

- ・どんな人も(多様性)自分らしく
- ・酒田が大好きな市民が酒田に住み続けられる
- ・地域住民や専門職など多様な主体の連携による支え合い
- ・防災、衛生、美化等の活動などの市民の支え合い



どんどんしゃんしゃん
賑わいも暮らしやすさも共に創る (ともにつくる)
公益のまち酒田



(2) 政策の体系

第1章 未来を担う「人財」が豊富な酒田

- 政策1 「協働」のまちづくりのための「市民参画」の推進
- 政策2 大学まちづくりによる人材育成
- 政策3 「協働」のまちづくりに向けたプロフェッショナルな人材づくり
- 政策4 市民みんなの「酒田愛」を育む
- 政策5 明日を担う子どもたちの生きる力を育む
- 政策6 世代を超えてまなびあい、生涯スポーツで明るく健やかに生きる
- 政策7 歴史にはぐくまれた芸術・文化を活かす

第2章 域内経済が活性化し、“働きたい”がかなう酒田

- 政策1 賑わいのある商業の振興と創業の推進
- 政策2 付加価値の高い工業の振興
- 政策3 “みなと”を活かした物流機能の強化
- 政策4 雇用の安定と働きやすい環境づくり
- 政策5 夢があり、儲かる農業にする
- 政策6 100年続く酒田の森林を造る
- 政策7 豊かな酒田の海づくり

第3章 サポーターが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田

- 政策1 総合的な移住・定住対策
- 政策2 効果的なシティプロモーションと交流の拡大
- 政策3 酒田らしい観光の充実と何度も来たくなるおもてなしの推進
- 政策4 “みなと”を活かした交流の促進

第4章 一人一人のライフスタイルが尊重される酒田

- 政策1 結婚・妊娠・出産から子育てまでのライフステージに応じた支援
- 政策2 誰もが活躍できるまちづくり
- 政策3 誰もが住みよい福祉のまちづくり

第5章 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

- 政策1 それぞれの力を最大限に引き出した地域運営
- 政策2 「全員参加」による美しい景観と環境づくり
- 政策3 地域と連携した安全なまちづくり
- 政策4 健康長寿でいつまでも活躍できるまちづくり
- 政策5 持続可能な地域公共交通

第6章 都市機能が強化され、賑わいがあるまち酒田

- 政策1 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり
- 政策2 中心市街地の活性化
- 政策3 交流の基盤となるインフラ整備への機運醸成
- 政策4 持続可能な生活インフラの構築

第7章 めざすまちを実現するための行財政運営

- 政策1 市民の満足度を高める効率的・効果的な行財政運営と質の高い窓口対応

基本計画

3 基本計画

※例えば
第5章

地域のつながりと安全・安心にあふれた
暮らしやすい酒田

く安全・安心で心豊かに暮らしたい
みんなが助け合い、支えあう地域でありたいく

第5章

地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい 酒田

～ 安全・安心で心豊かに暮らしたい
みんなが助け合い、支えあう地域でありたい ～

政策1	それぞれの力を最大限に引き出した地域運営	00
政策2	「全員参加」による美しい景観と環境づくり	00
政策3	地域と連携した安全なまちづくり	00
政策4	健康長寿でいつまでも活躍できるまちづくり	00
政策5	持続可能な地域公共交通	00

5-3 地域と連携した安全なまちづく

◆現状と課題

【消防・救急・防災】

- 火災の発生状況は年40件程度で推移。住宅火災が約3割で、高齢者世帯からの出火が増加傾向。
- 救急については、高度救急体制の推進により、救急救命士が現場で行う医療行為が、心肺停止前の傷病者にも拡大した。
- 消防団員数の減少と高齢化が喫緊の課題。自主防災組織の組織率は95%と高い状況である。
- 津波ハザードマップ等の策定がなされているが、地域住民への周知、訓練への参加拡大が課題。
- 消防署の老朽化に伴い、適切な配置を検討するとともに、災害時の拠点となる施設が必要。

【防犯・交通安全】

- 防犯ボランティア団体として36の単位防犯協会が組織されている。
- 暗がりの危険箇所を無くすための防犯灯を市全体で約14,500灯設置。
- 酒田市の事故発生状況は微減傾向だが、死者数は増加。
- 高齢者の事故が多発傾向？にあり、認知機能等の低下による危険運転への対策が急務。

【市民相談】

- 消費生活相談については、特殊詐欺や悪質商法等の手口が多様化、複雑化し被害が増加。

【空き家】

- 市内空き家数は約1,660棟（H28.6月現在）で増加傾向。うち、管理不全で危険とみなされる空き家（特定空き家）は約510棟。所有者の権利関係が複雑なものや、費用面で解体できないものなど、様々なケースがあり、解決までに多くの時間と労力が必要。

【耐震化】

- 市有施設の耐震化率は85.1%（H28.3末）と庁舎、医療機関、公共施設の耐震化が進んでいる一方、文化・社会・体育施設の耐震化が遅れている。
- 住宅の耐震化率は71.7%で、全国平均約82%、県平均75.5%と低い。

◆今後の方向性

- 安全な暮らしの実現のためには、市民の防災意識の向上と自助・共助の行動することがもっとも重要な要素である。

- いずれの分野においても、取り組みを継続・推進していく必要があるが、急激な高コスト化が懸念されており、必要に応じて、市民の負担を軽減しながら取り組んでいく必要がある。

【耐震化】

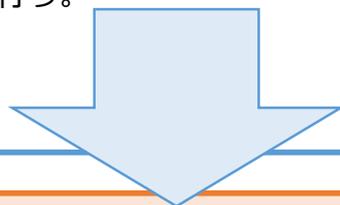
- 酒田市公共施設耐震化計画を踏まえ、災害発生時に市民の避難所となる施設について優先的に耐震化を進めるとともに、未耐震化施設の避難所指定の見直し、未耐震化施設の利用制限などによる安全確保の検討を行う。
- 市民の防災意識を高め、既存住宅の耐震改修や減災対策を促進する。

り



◆市民ができること

- 安全なまちをつくるための活動（消防団、防犯、交通安全、消費生活、空き家見守りなどに関する活動）に積極的に参加する。
- 災害発生に備え、水や食糧の備蓄など事前の準備を行うとともに、防災訓練等に参加し、防災行動力の向上を図る。
（危険箇所、避難場所、避難経路、災害時における対応の確認など）
- 住宅や事業所などの耐震化や、家具、キャビネット等の転倒防止を行う。
- 木造住宅における耐震改修の重要性について理解する。



◆成果指標 ◎地域と行政が連携し、安全なまちづくりに向けた活動に誰もが主体的に取り組む、安全・安心な生活を送ることができている。

- ・全コミュニティセンターでの避難所立ち上げ訓練 %
- ・交通事故発生件数 ○件
- ・空き家件数○件
- ・サイトを介した空き家利活用事例 ○件
- ・住宅耐震化率 ○%
- ・防災上重要な公共建築物（災害本部、避難所となる施設）の耐震化率 %
- ・自主防災組織率 %

◆政策推進のための主な施策

【消防・救急・防災】

- 消防署、総合防災センターの配置
- 避難所立ち上げ訓練

【防犯・交通安全】

- 継続した防犯灯の維持
- 運転免許自主返納

【市民相談】

- 多様な課題に対応できる相談窓口を設置

【空き家】

- 引管理、個別対応の継続
- 発生減少、（賃貸等）の促進

【耐震化】

- 避難所に指定された施設の耐震化
- 市民の防災意識向上の取組み
- 住宅の耐震改修、減災対策への支援

◆関連個別計画

- 酒田市地域防災計画
- 酒田市公共施設適正化管理計画
- 酒田市水防計画
- 酒田市建築物耐震改修促進計画
- 酒田市交通安全計画

サンプル

4 まとめ

資料編（別冊とする場合も）

～市民共有のまちづくり計画であるために～ （第2次酒田市総合計画策定の経過）

- 総合計画審議会委員名簿
- 総合計画審議会の審議経過、審議の様子
- 総合計画審議会 各委員インタビュー集
- 有識者インタビュー集
- 総合計画未来会議の取組み経過、対話の様子
- 総合計画未来会議参加者名簿（1回でも参加して下さった皆様）
- 総合計画策定職員作業班の取組み経過、原案等検討の様子